



東京アニメアワードフェスティバル実行委員会  
一般社団法人 日本動画協会  
2015年3月19日

## 東京アニメアワードフェスティバル 2015

アリ・フォルマン監督やマルセル・ジャン監督も登壇

レッドカーペットで華々しく開幕

原恵一監督のアニメードール授賞式も



3月19日(木)から23日(月)まで開催される「東京アニメアワードフェスティバル 2015」(TAAF2015)のオープニングセレモニーが、会期初日である本日19日(木)17時半から、東京都内、地下鉄三越前駅の「江戸桜通り」地下歩道にて実施された。

オープニングセレモニーの冒頭には、『クレヨンしんちゃん』シリーズ、『河童のクウと夏休み』、そして新作『百日紅～Miss HOKUSAI～』(5月9日全国公開)の監督をつとめる 原恵一監督に、東京アニメアワードフェスティバル 2015 のアニメードール授賞が発表され、トロフィーの授与がおこなわれました。原監督は、遠慮がちに受賞の喜びを語りながらも、新作『百日紅～Miss HOKUSAI～』に関しては、手ごたえを感じていると力強く語ったのが印象的でした。

昨年より新たに設けられた「特別賞・アニメードール~Anime d'or」は、アニメーションを変え、時代を変え、世界を変え、未来をも変える力を持ったその特別な輝きに、東京アニメアワードフェスティバルが授与する賞です。昨年は『かぐや姫の物語』の高畑勲監督が「アニメードール」初の受賞者となりました。また国民的キャラクターである「アンパンマン」にも同賞が贈られました。

本年の原監督へのアニメードール授賞理由は、以下の通り。

「型にはまらず、日本の商業アニメーションの中にあって異彩を放つ、素晴らしい作品をこれまでも数々監督をしてきた、原恵一監督。まもなく完成を迎える最新作『百日紅～Miss HOKUSAI～』は、江戸を舞台とし、漫画・アニメーション文化の源ともいえる浮世絵をテーマとして描き、日本の誇るべき伝統の大衆文化を、現代の大衆文化アニメーション作品として見事に昇華させ、世界へ向かっていま羽ばたかんとしている。日本の芸術文化産業アニメーションの発展を目的とし、世界へと発信させる使命を持った、この東京アニメアワードフェスティバルとして讃えるにふさわしく、また今後のアニメーション文化を担う監督の一人として、原恵一監督に「Anime d'or」をお贈りいたします。」

オープニングセレモニーは、その後、レッドカーペットもおこなわれ、アカデミー賞ミネート作品『戦場でワルツを』、そして昨年実施された東京アニメアワードフェスティバル2014コンペティション部門 長編のグランプリ作品『Congress 未来学会議』の監督、アリ・フォルマン氏や、2012年より、世界最大のアニメーション映画祭フランス・アヌシー国際アニメーション映画祭のアーティストック・ディレクターを務め、現在モンリオールの研究所(INIS)のプログラムディ



レクターとしても活躍中のマルセル・ジャン氏、そして大使館からのゲストなど、国際色豊かな同映画祭らしいゲストが続々と登場。(アリ・フォルマン氏、マルセル・ジャン氏は TAAF2015 のコンペティション部門の最終審査員をつとめる。)

東京アニメアワードフェスティバル (TAAF) は、アニメーションの振興を目的とした国際映画祭で、TAAF2015 は3月19日(木)から3月23日(月)まで、TOHOシネマズ 日本橋を中心に行われ、数多くの作品上映・コンペティション部門の本審査・特別イベントが実施される。

なお、3月22日(日)17時からは、各部門の授賞作品の発表、アニメ オブ ザ イヤーの発表、アニメ功労部門の顕彰が行われる授賞式が実施の予定。

**【アニメドール トロフィーの制作に関して】**アニメドール受賞者に贈られるトロフィーは、『機動戦士ガンダム』のモビルスーツのデザインなどでも有名なメカデザインの巨匠 大河原邦男氏がデザインを行い、DMM.make が3Dプリンターなどの最新技術を駆使し、その精巧なデザインを再現したものです。TAAF2015 の開催地である「日本橋」をテーマに、擬宝珠(ぎぼし)と麒麟像をイメージした翼のついた、このトロフィーもオープニングセレモニー内でご覧頂けます。



原 恵一

1959年生まれ。群馬県出身。PR映画の制作会社を経てアニメ制作会社に入社し、「エスパー魔美」をはじめ数々のアニメの演出を手掛ける。『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ モーレツ! オトナ帝国の逆襲』(01)、『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ アッパレ! 戦国大合戦』(02)は、第6回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞や第57回毎日映画コンクール・アニメーション映画賞など多数の賞を受賞し、大人も子供も涙する作品として話題となった。その後も『河童のクゥと夏休み』(07)やアヌシー国際アニメーション映画祭で特別賞と観客賞を受賞した『カラフル』(10)など精力的に作品を作り続け、『はじまりのみち』(13)で初の実写作品を手がける。

**【本件に関する報道関係のお問合せ】**

TAAF2015 PR事務局 (株)プラチナム内) 担当: 丸山・福田・益子

Tel : 03-5572-6072 / Fax : 03-5572-6075

Mail : taaf2015@vectorinc.co.jp

当日のご連絡先 090-5896-4293(福田) 080-4854-2283 (丸山)